



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5992 URL <https://www.chkk.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 北浦 啓一
問合せ先責任者（役職名） 総合企画部長（氏名） 藤田 誠一（TEL）052-624-8539
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年11月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	54,057	1.5	1,495	△15.1	1,956	9.4	1,338	7.3
2025年3月期中間期	53,256	5.8	1,760	158.4	1,787	△20.8	1,248	△11.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 4,172百万円（－％） 2025年3月期中間期 △7,909百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	53.06	—
2025年3月期中間期	49.45	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	144,952	84,500	55.3
2025年3月期	142,907	81,045	53.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 80,134百万円 2025年3月期 76,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.00	—	26.00	40.00
2026年3月期	—	30.00			
2026年3月期（予想）			—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 21円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	△0.1	2,500	△43.0	3,000	△41.7	1,900	2.4	75.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	25,542,396株	2025年3月期	25,542,396株
2026年3月期中間期	313,948株	2025年3月期	309,434株
2026年3月期中間期	25,230,933株	2025年3月期中間期	25,240,705株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

参考資料

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における主要取引先の売上高は、新製品スタビライザ（ODDS）の出荷の増加及び前年生じた一部の取引先における生産停止影響の解消により国内売上高が増加し、海外売上高も全地域で円高影響を跳ね返し増加し、グローバル全体での売上高は増加いたしました。

このような状況のなか、当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高が前年同期に比べ8億1百万円増収（前年同期比1.5%増）の540億5千7百万円となり、同期間での売上高は過去最高となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が前年同期に比べ2億6千5百万円減益の14億9千5百万円（前年同期比15.1%減）となりましたが、経常利益が前年同期に比べ1億6千8百万円増益の19億5千6百万円（前年同期比9.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益が前年同期に比べ9千万円増益の13億3千8百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

営業利益については、本年7月30日付「中長期経営計画2030」において開示しました通り、藤岡工場事故災害の反省から安全最優先の取組みを強化する方針のもと、

1. 設備の安全対策として、事故の未然防止を強化する安全対策投資
2. 老朽設備更新を中心とした設備更新投資
3. 暑熱対策や職場を汚さない設備の導入による、安心して働ける職場環境改善投資
4. 安全、品質、コンプライアンスを実現するための時間やリソース確保

の4つの事項に対する設備・人的投資を進めたことから「意志ある固定費」が増加し減益となりました。本固定費の増加は当期の通期連結業績予想には織り込み済みであり、計画的な支出となっております。

一方、増益影響としては、新技術を搭載した新製品スタビライザ等の高付加価値製品の増加による収益構造の改善、グローバル調達ソーシングの改善や外注加工技術の内製取込みの拡大による直材費低減を柱とする過去最高レベルでの合理化改善に加え、労務費及び鋼材、資材等のインフレ影響に対する売価反映は順調に進捗しており、「意志ある固定費」の増加影響を相殺する努力を最大限実施しております。地域別営業利益では日本を除く3拠点の北米、アジア、中国は増益となりました。北米は当期中より関税影響が出始めましたが、事業構造改善による原価低減効果が上回り増益となりました。

経常利益は営業利益の減少による減益要因があったものの、対前年の円高に対し本年の円高の変動幅が縮小したことにより、差額として当社保有の外貨建資産に対する為替評価差益が発生し、増益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益についても増益となりました。

今後の見通しについては、本年4月24日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想に対する当中間期の結果が売上、利益各指標全てにおいて、通期予想の期間按分ペースに対しほぼオンラインで推移しており、今後も同様なペースを維持できる見込みであることから、今回変更は行いません。

なお、本業績予想には第3四半期以降の米国関税影響は含まれておりません。本件に関しては、現在お客様に対する売価反映交渉を継続中であり、現時点において定かな影響額を算定することが困難な状況にあるためです。影響額が算定でき次第すみやかに開示を行います。

本年3月6日に発生させた事故災害を二度と起こさない、全ての従業員が安全、安心して働くことができる安全最優先の取組みを強化し、世界一クリーンなばねメーカーとなれるよう職場環境の改善を確実に実施し、経営基盤を強化してまいります。その上で、商品力強化、新分野進出、原価低減を柱とする成長戦略、それを実現するための成長投資、その両輪となる株主還元を柱とする財務戦略を実践し、企業価値の向上をはかってまいります。

今後も当社競争力の源泉であるコアコンピタンスを最大限に生かし、お客様のニーズを捉えたクリエイティブな提案ができるプロポーザブルカンパニーとして、全従業員が一丸となり成長を続けてまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

〔日本〕

売上高412億1千4百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益14億9千5百万円（同33.0%減）となりました。

〔北米〕

売上高45億1千8百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益1億4千7百万円（同111.2%増）となりました。

〔中国〕

売上高51億6千8百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益2億4千2百万円（同820.0%増）となりました。

〔アジア〕

売上高86億4千6百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益6億9千4百万円（同63.0%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は534億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億1千5百万円減少（4.5%減）いたしました。これは主に現金及び預金の減少（14億7千5百万円）や受取手形及び売掛金の減少（10億8千1百万円）によるものであります。

固定資産は914億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億6千万円増加（5.2%増）いたしました。これは主に投資有価証券の増加（38億6千8百万円）や退職給付に係る資産の増加（4億8千5百万円）によるものであります。

この結果、総資産は1,449億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億4千4百万円増加（1.4%増）いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は259億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千2百万円増加（1.0%増）いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加（29億9千9百万円）と未払金の減少（24億6千8百万円）によるものであります。

固定負債は344億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億7千2百万円減少（4.6%減）いたしました。これは主に長期借入金の減少（30億1千1百万円）と繰延税金負債の増加（11億9千4百万円）によるものであります。

この結果、負債合計は、604億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億1千万円減少（2.3%減）いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は845億円となり、前連結会計年度末に比べ34億5千4百万円増加（4.3%増）いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加（26億5千4百万円）や利益剰余金の増加（6億8千2百万円）によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.3%（前連結会計年度末は53.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年4月24日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,653,337	20,177,793
受取手形及び売掛金	16,005,619	14,924,604
電子記録債権	2,736,028	2,780,625
商品及び製品	3,049,963	3,583,326
仕掛品	1,643,961	1,571,784
原材料及び貯蔵品	9,272,872	8,800,085
未収入金	272,523	565,792
その他	1,374,447	1,086,840
貸倒引当金	△25,107	△22,537
流動資産合計	55,983,645	53,468,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,848,161	33,813,865
減価償却累計額	△26,330,640	△26,714,472
建物及び構築物（純額）	6,517,521	7,099,392
機械装置及び運搬具	71,344,265	74,634,024
減価償却累計額	△56,277,699	△56,834,523
機械装置及び運搬具（純額）	15,066,566	17,799,501
土地	9,594,099	9,658,296
建設仮勘定	7,459,310	4,265,193
その他	11,764,910	11,766,367
減価償却累計額	△10,849,605	△10,848,128
その他（純額）	915,305	918,239
有形固定資産合計	39,552,801	39,740,623
無形固定資産		
ソフトウェア	197,057	248,361
その他	61,848	32,915
無形固定資産合計	258,905	281,277
投資その他の資産		
投資有価証券	31,720,071	35,588,360
長期前払費用	427,456	400,777
繰延税金資産	284,938	277,493
退職給付に係る資産	14,317,554	14,802,880
その他	372,604	403,036
貸倒引当金	△10,426	△10,426
投資その他の資産合計	47,112,199	51,462,122
固定資産合計	86,923,906	91,484,024
資産合計	142,907,552	144,952,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,435,061	12,400,717
電子記録債務	1,404,902	1,474,917
短期借入金	668,500	665,000
1年内返済予定の長期借入金	21,840	3,021,600
リース債務	115,216	139,882
未払金	3,250,191	781,801
未払費用	2,116,873	2,251,575
未払法人税等	461,365	388,049
賞与引当金	1,678,122	1,676,326
役員賞与引当金	52,600	24,151
製品保証引当金	2,398,078	2,398,221
災害損失引当金	151,904	-
事業構造改善引当金	81,787	17,629
その他	858,353	717,357
流動負債合計	25,694,797	25,957,231
固定負債		
長期借入金	23,087,360	20,075,600
リース債務	231,694	303,531
繰延税金負債	11,445,886	12,640,237
役員退職慰労引当金	33,408	38,798
退職給付に係る負債	1,143,831	1,208,988
資産除去債務	125,925	126,790
その他	99,097	100,714
固定負債合計	36,167,204	34,494,660
負債合計	61,862,001	60,451,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,055,911	11,055,911
利益剰余金	29,962,755	30,645,458
自己株式	△309,523	△311,320
株主資本合計	51,546,352	52,227,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,621,140	22,275,302
為替換算調整勘定	1,750,535	2,079,913
退職給付に係る調整累計額	3,831,980	3,551,580
その他の包括利益累計額合計	25,203,656	27,906,796
非支配株主持分	4,295,541	4,366,393
純資産合計	81,045,550	84,500,448
負債純資産合計	142,907,552	144,952,340

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	53,256,421	54,057,830
売上原価	46,818,873	47,663,411
売上総利益	6,437,548	6,394,418
販売費及び一般管理費	4,676,550	4,899,243
営業利益	1,760,997	1,495,175
営業外収益		
受取利息	60,093	68,649
受取配当金	564,861	651,579
その他	98,615	52,988
営業外収益合計	723,570	773,217
営業外費用		
支払利息	62,378	77,252
固定資産除売却損	63,146	97,181
為替差損	544,006	80,410
その他	27,361	57,369
営業外費用合計	696,892	312,215
経常利益	1,787,675	1,956,177
特別利益		
受取保険金	-	83,594
関係会社清算益	44,896	-
特別利益合計	44,896	83,594
税金等調整前中間純利益	1,832,572	2,039,772
法人税等	525,325	624,016
中間純利益	1,307,246	1,415,755
非支配株主に帰属する中間純利益	59,066	76,995
親会社株主に帰属する中間純利益	1,248,179	1,338,760

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,307,246	1,415,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,482,866	2,669,963
為替換算調整勘定	△210,490	365,989
退職給付に係る調整額	△523,255	△279,384
その他の包括利益合計	△9,216,613	2,756,568
中間包括利益	△7,909,366	4,172,323
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△7,904,380	4,041,900
非支配株主に係る中間包括利益	△4,986	130,423

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,832,572	2,039,772
減価償却費	2,080,105	2,364,289
災害損失引当金の増減額（△は減少）	-	△151,904
事業構造改善引当金の増減額（△は減少）	-	△64,157
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△1,097,973	△852,893
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	66,740	96,494
受取利息及び受取配当金	△624,954	△720,229
受取保険金	-	△83,594
支払利息	62,378	77,252
為替差損益（△は益）	297,320	37,745
売上債権の増減額（△は増加）	△537,950	1,095,752
棚卸資産の増減額（△は増加）	898,837	75,163
仕入債務の増減額（△は減少）	884,199	△5,432
未収入金の増減額（△は増加）	82,488	△300,188
未払金の増減額（△は減少）	△208,805	△89,860
未払費用の増減額（△は減少）	△51,586	122,809
未払消費税等の増減額（△は減少）	295,635	△39,342
その他の流動資産の増減額（△は増加）	529,108	291,062
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△58,956	△81,104
その他	△28,703	20,139
小計	4,420,455	3,831,773
利息及び配当金の受取額	621,191	716,684
利息の支払額	△62,729	△77,223
助成金の受取額	8,074	10,795
法人税等の支払額	△515,542	△624,068
保険金の受取額	-	83,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,471,449	3,941,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△106,850	△122,280
定期預金の払戻による収入	20,000	91,710
有形固定資産の取得による支出	△4,203,276	△4,667,940
有形固定資産の売却による収入	111,704	7,686
無形固定資産の取得による支出	△11,495	△58,864
長期前払費用の回収による収入	110,489	26,113
投資有価証券の取得による支出	△19,100	-
貸付けによる支出	△10,200	△2,000
貸付金の回収による収入	8,606	10,786
その他	△4,166	△9,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,104,288	△4,724,274

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	△10,680
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△67,823	△89,440
自己株式の取得による支出	△678	△1,796
配当金の支払額	△302,203	△655,192
非支配株主への配当金の支払額	△118,443	△59,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489,147	△816,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154,681	91,515
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△276,667	△1,507,883
現金及び現金同等物の期首残高	21,103,118	21,560,277
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,826,451	20,052,393

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	38,270,185	4,332,406	3,592,707	7,061,122	53,256,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,669,334	11,022	1,512,195	1,232,542	4,425,095
計	39,939,520	4,343,428	5,104,902	8,293,664	57,681,516
セグメント利益	2,231,494	69,875	26,378	426,100	2,753,849

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,753,849
未実現利益の消去等	25,799
全社費用(注)	△1,018,651
中間連結損益計算書の営業利益	1,760,997

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	39,231,180	4,515,813	3,518,654	6,792,181	54,057,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,983,381	3,021	1,649,539	1,854,332	5,490,274
計	41,214,561	4,518,834	5,168,194	8,646,514	59,548,104
セグメント利益	1,495,504	147,565	242,678	694,344	2,580,093

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

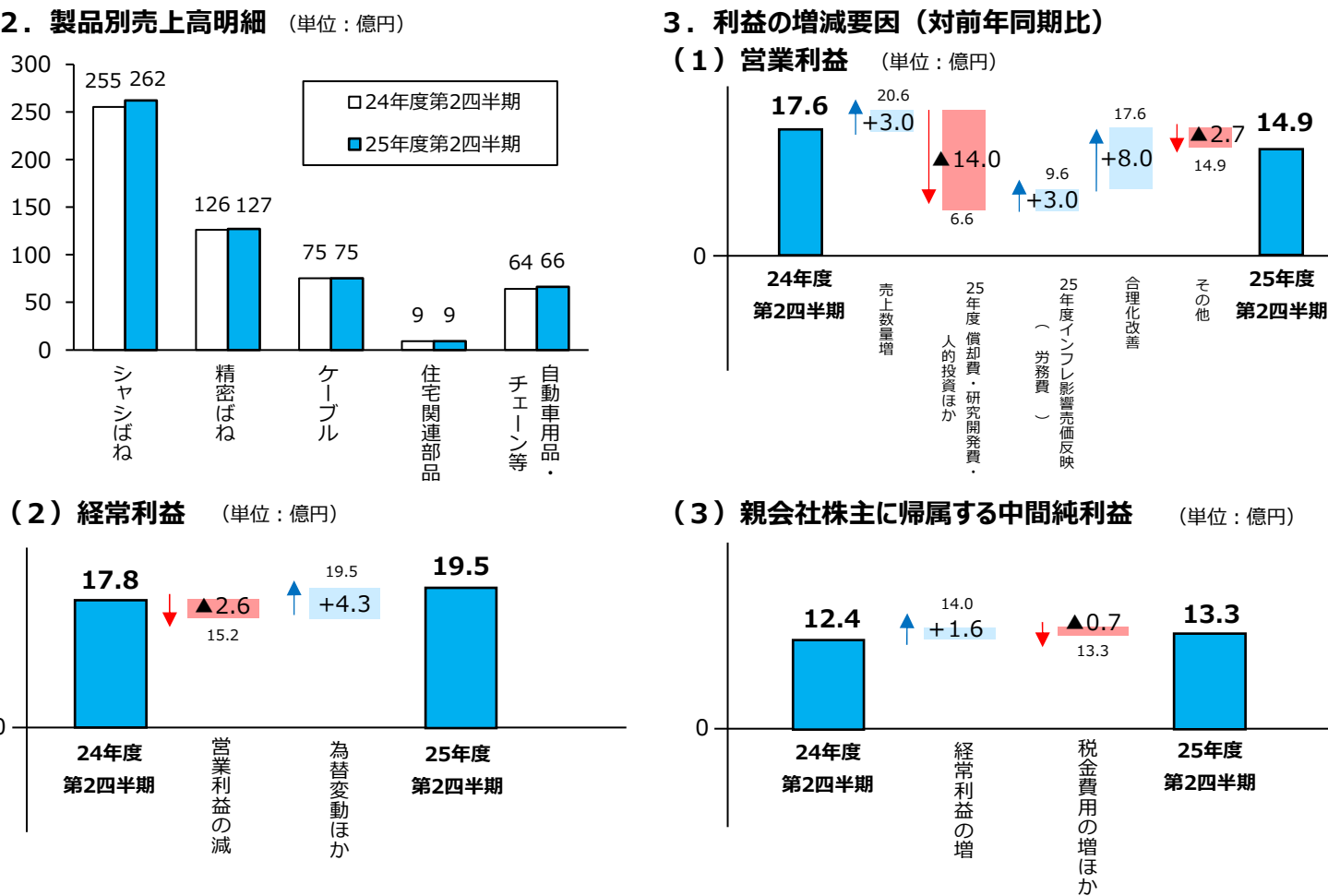
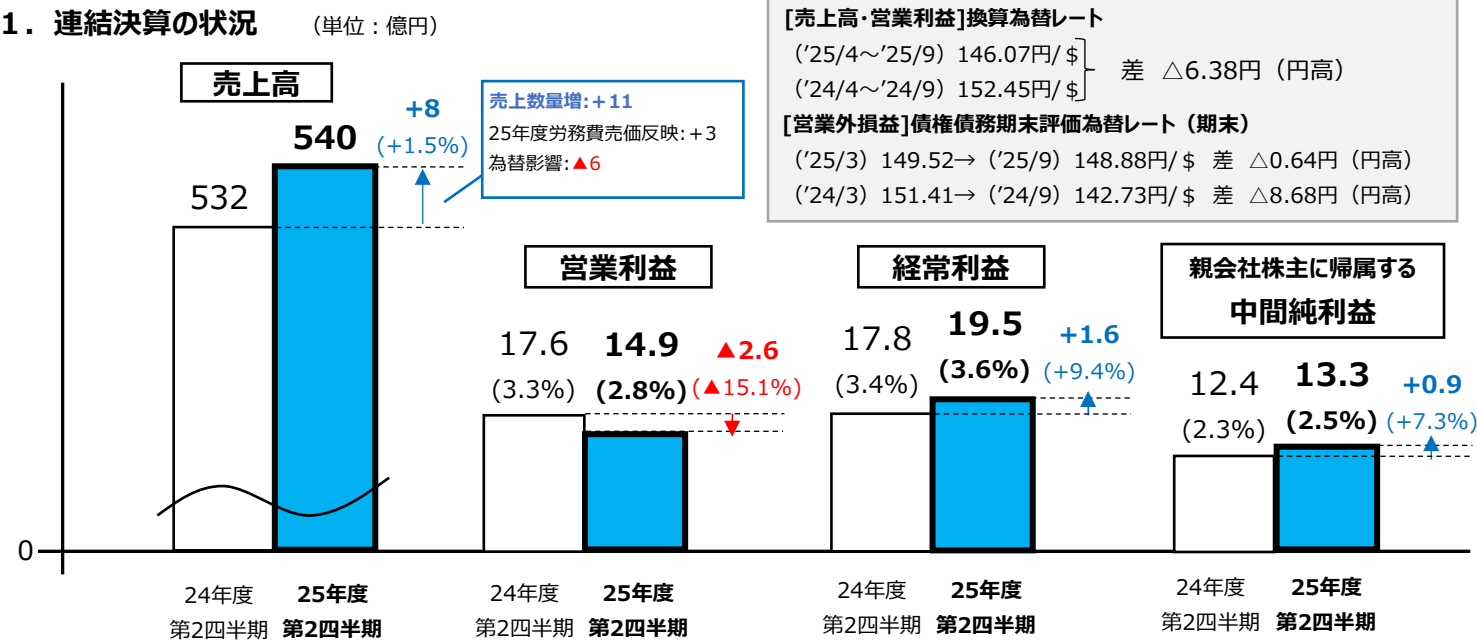
利益	金額
報告セグメント計	2,580,093
未実現利益の消去等	16,510
全社費用(注)	△1,101,428
中間連結損益計算書の営業利益	1,495,175

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

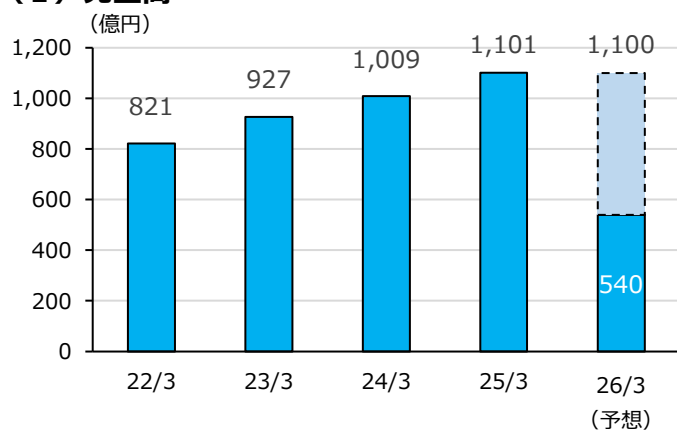
該当事項はありません。

1. 売上高 …新製品スタビライザ（ODDS）の出荷の増加及び前年生じた一部の取引先における生産停止影響の解消により
国内売上高が牽引するかたちで増加、海外売上高も全地域で円高影響を跳ね返し増加し、グローバル全体では増収。
2. 営業利益…売上高増加及び新製品スタビライザなどの高付加価値製品の増加による収益構造改善や直材費低減を柱とする過去最高
レベルでの合理化改善を行うも、安全最優先の取組みを強化する方針のもと設備・人的投資を進め、「意志ある固定費」が
増加し減益。
3. 経常利益…営業利益の減少による減益要因があるものの、対前年の円高に対し、本年の円高の変動幅が縮小したことにより、差額として
当社保有の外貨建資産に対する為替評価差益が発生し増益。

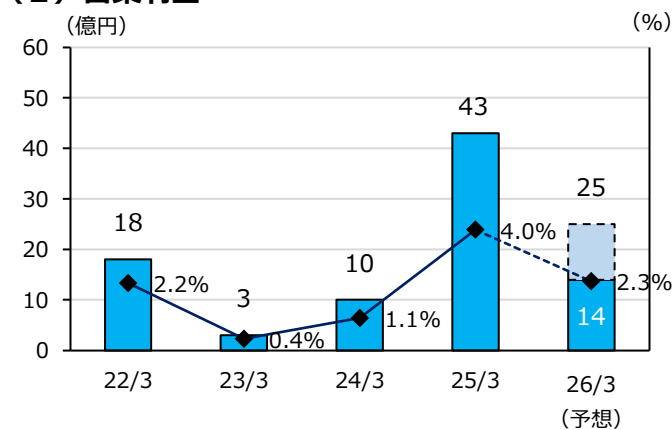


4. 業績推移

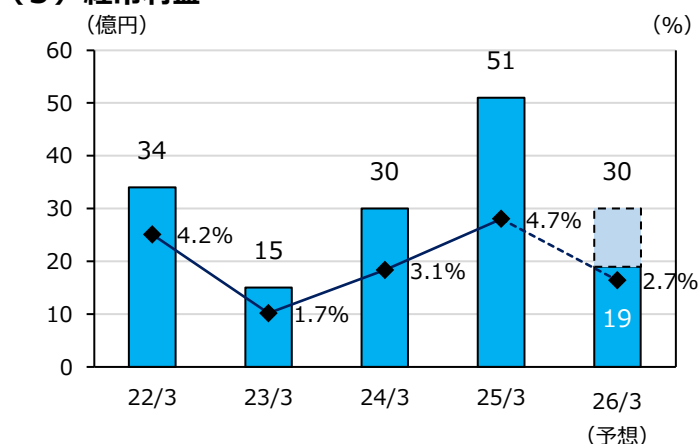
(1) 売上高



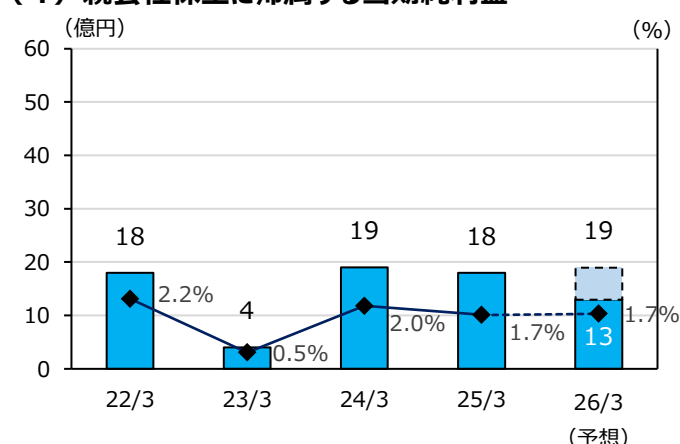
(2) 営業利益



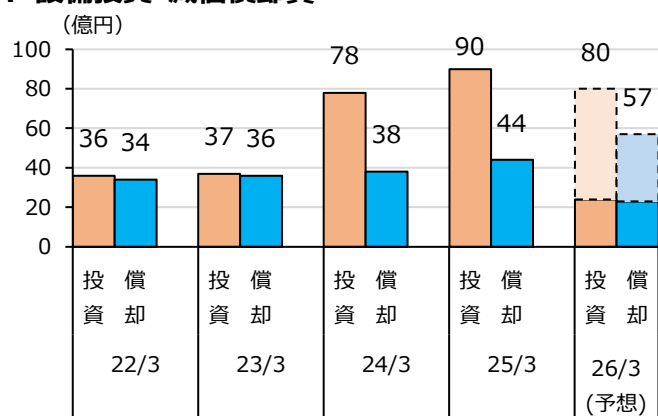
(3) 経常利益



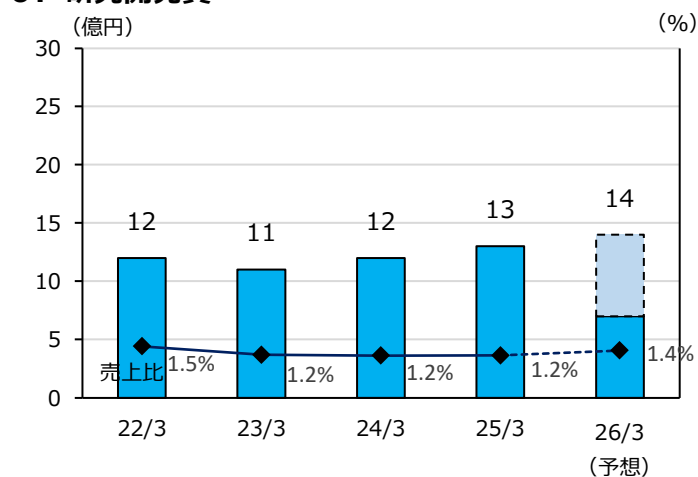
(4) 親会社株主に帰属する当期純利益



5. 設備投資・減価償却費

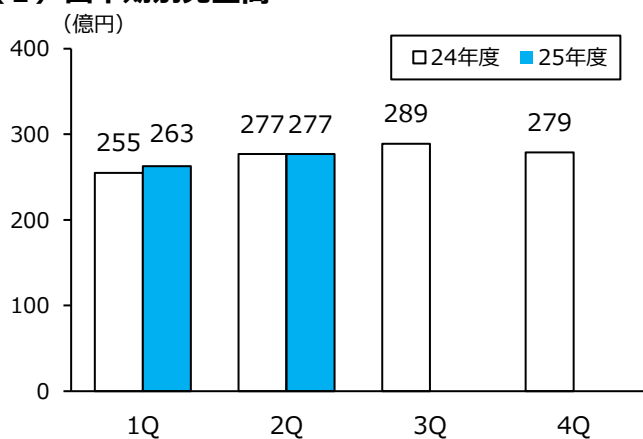


6. 研究開発費

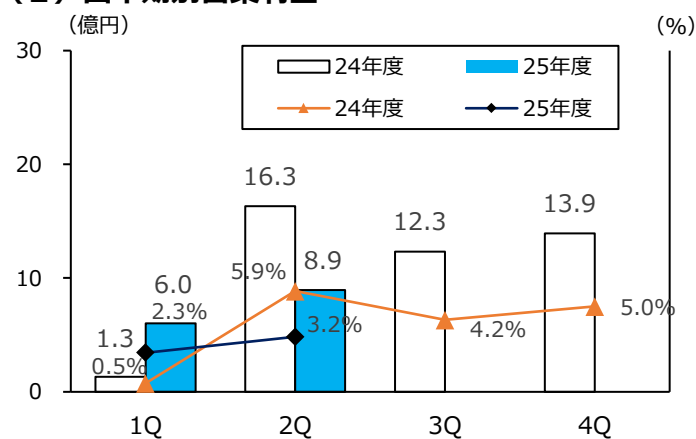


7. 四半期別業績比較

(1) 四半期別売上高



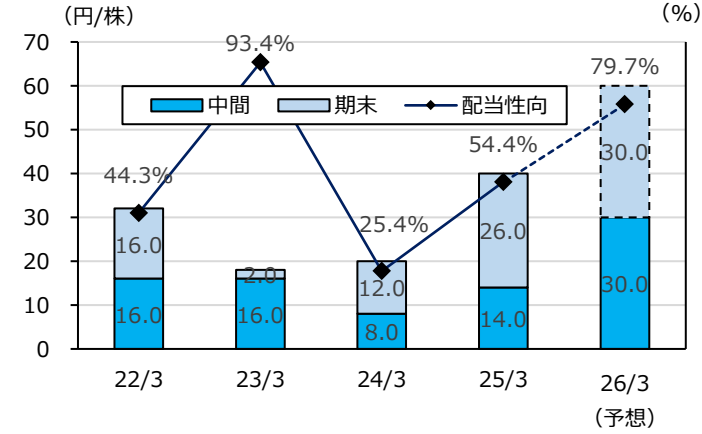
(2) 四半期別営業利益



8. 貸借対照表 (単位：億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科目	25/03	25/09	増減	科目	25/03	25/09	増減
流動資産	559	534	△25	流動負債	256	259	+2
現金及び預金	216	201	△14	買入債務	138	138	+0
売上債権	187	177	△10	借入金	6	36	+29
棚卸資産	139	139	+0	その他	111	83	△27
その他	16	16	+0	固定負債	361	344	△16
				借入金	230	200	△30
				その他	130	144	+13
				(負債計)	618	604	△14
固定資産	869	914	+45	株主資本	515	522	+7
有形固定資産	395	397	+1	その他包括利益累計額	252	279	+27
無形固定資産	2	2	+0	非支配株主持分	42	43	+1
投資その他資産	471	514	+43	(純資産計)	810	845	+34
計	1,429	1,449	+20	計	1,429	1,449	+20

9. 配当金・配当性向



(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無